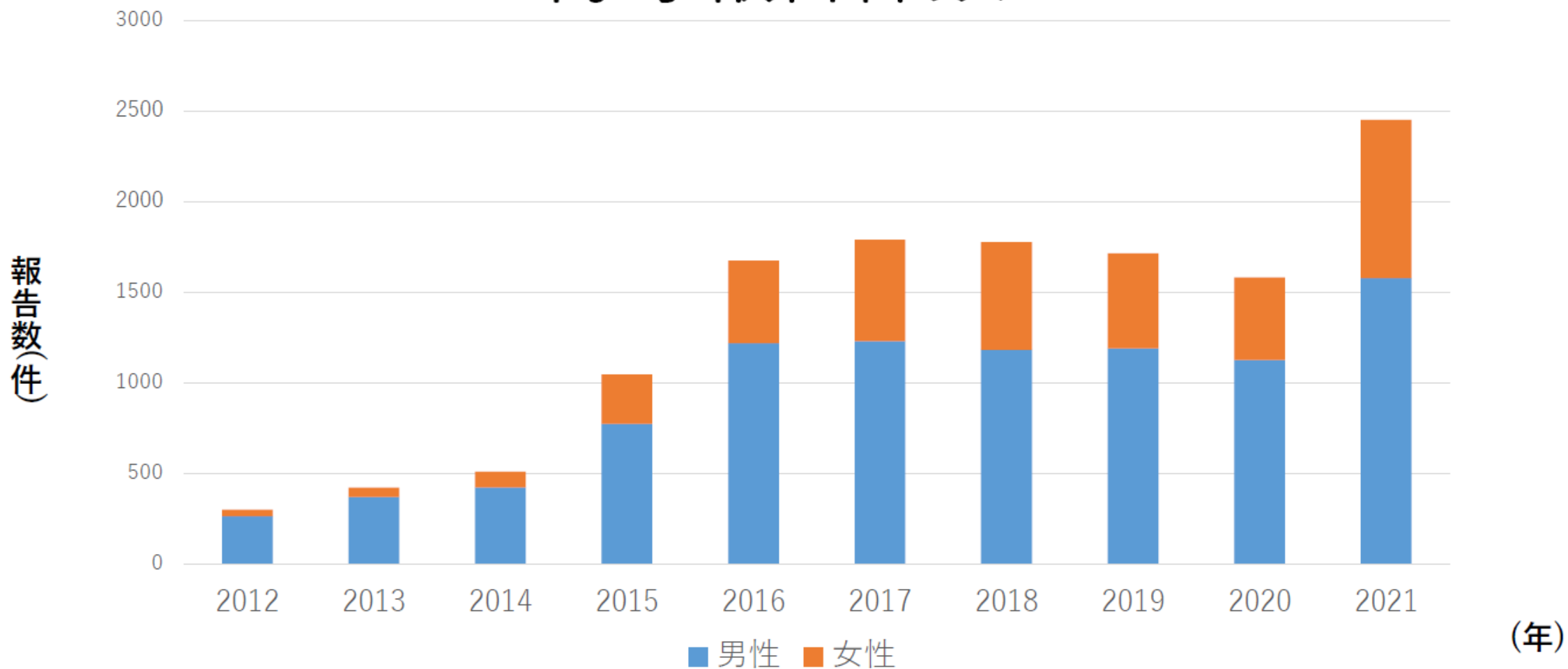


東京都の 梅毒発生動向等について

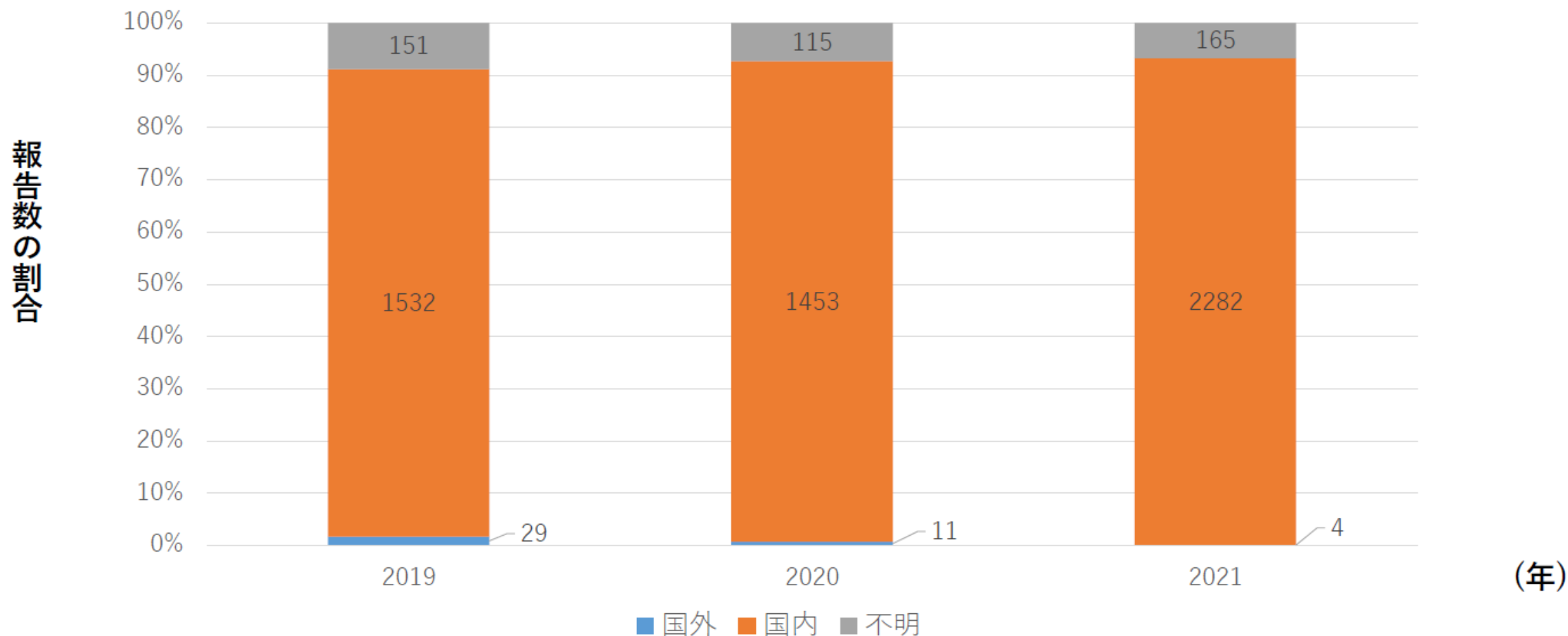
福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

梅毒報告件数



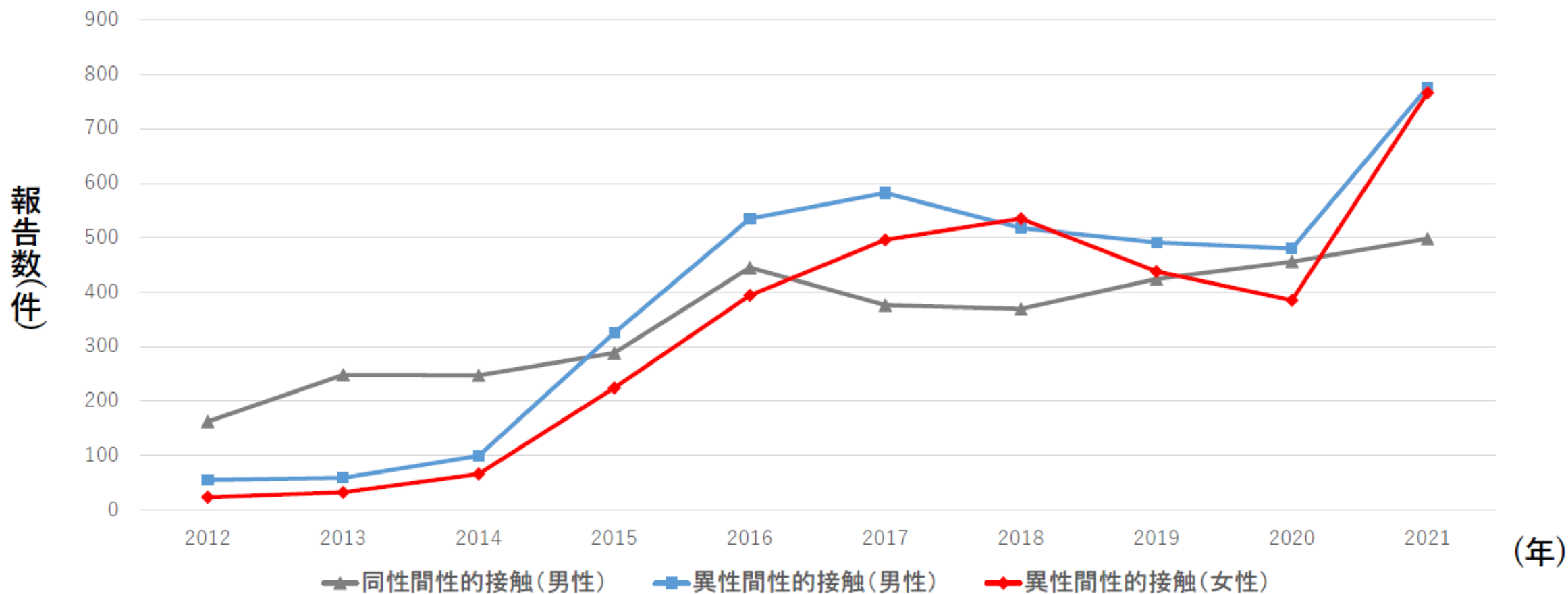
2014年から2015年、2015年から2016年、2020年から2021年で急激に増加している

推定感染地域別報告者数



2020年、2021年は国外感染の報告数が減っている
(新型コロナウイルス感染症における渡航制限が原因と考えられる)

梅毒の推定感染経路別報告数の推移



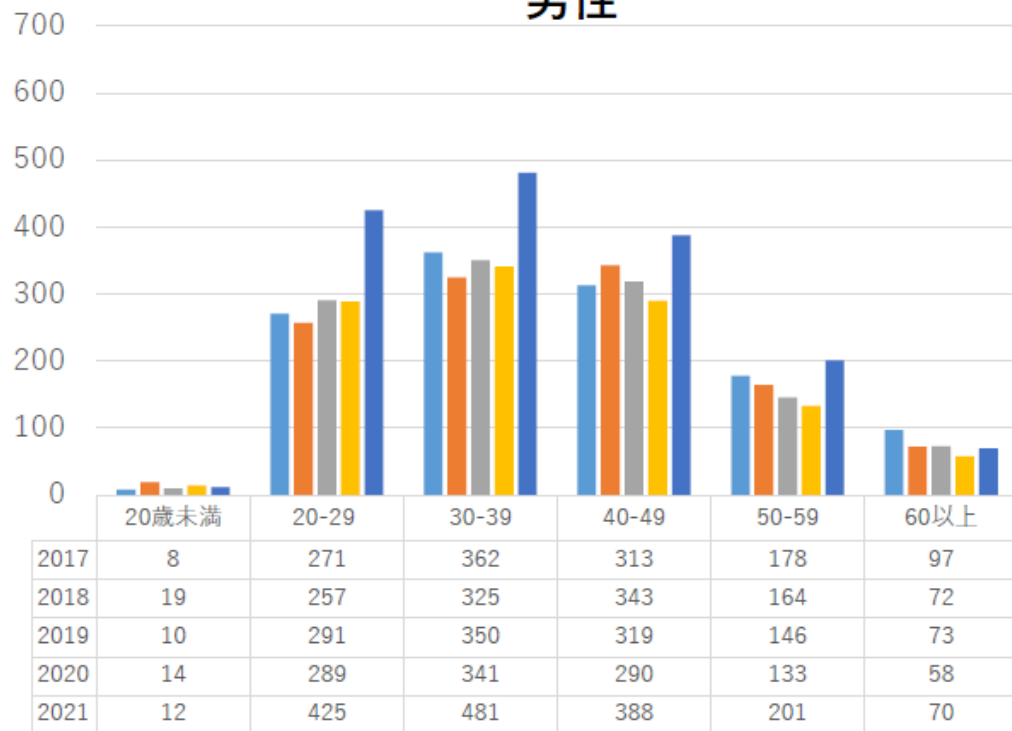
※性的接触不明、両性間性的接触は除く、同性間性的接触(女性)は1桁のためグラフなし

2021年に男女とも異性間性的接触が増加している

梅毒の男女別・年齢別患者報告数の推移(5年間)

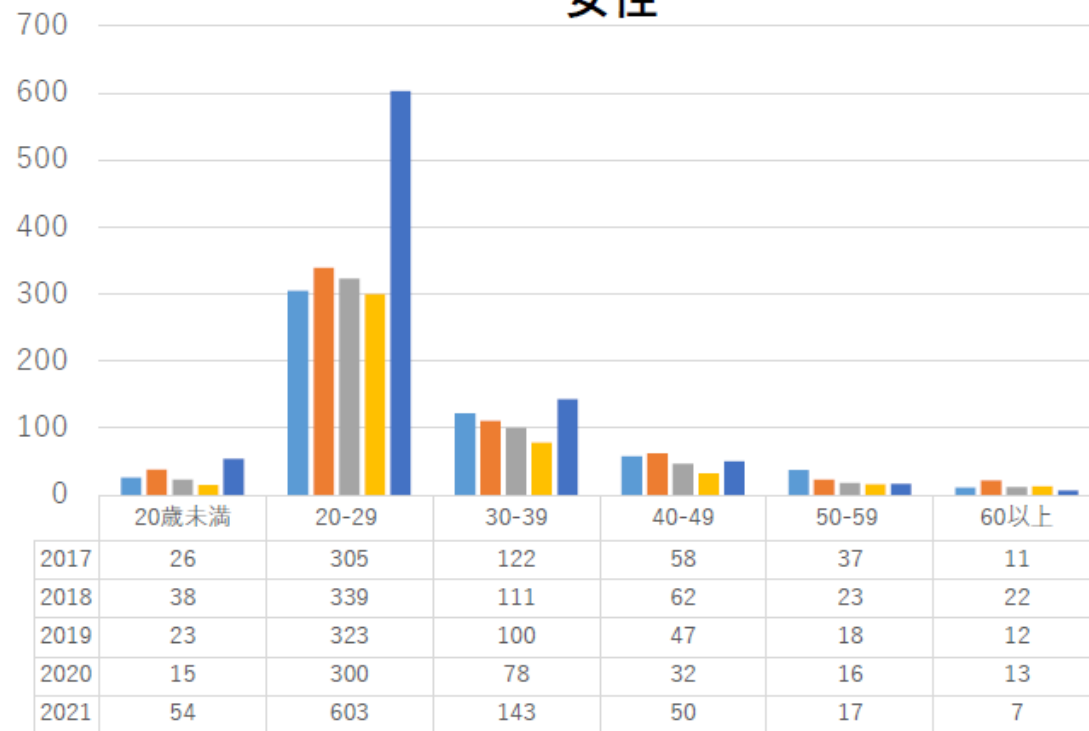
報告数(件)

男性



■ 2017 ■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021

女性

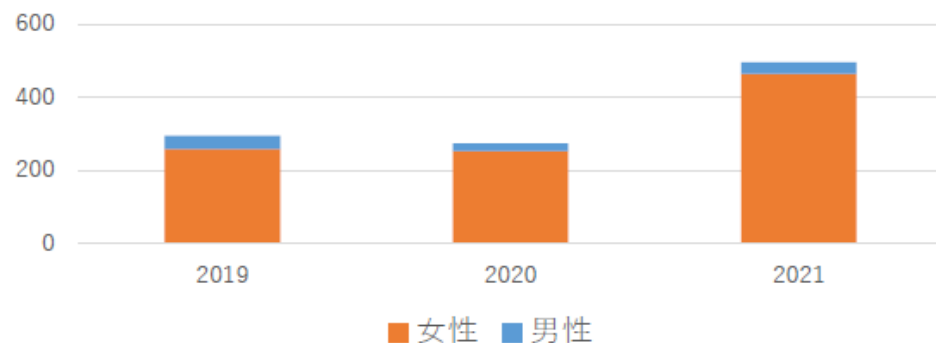


■ 2017 ■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021

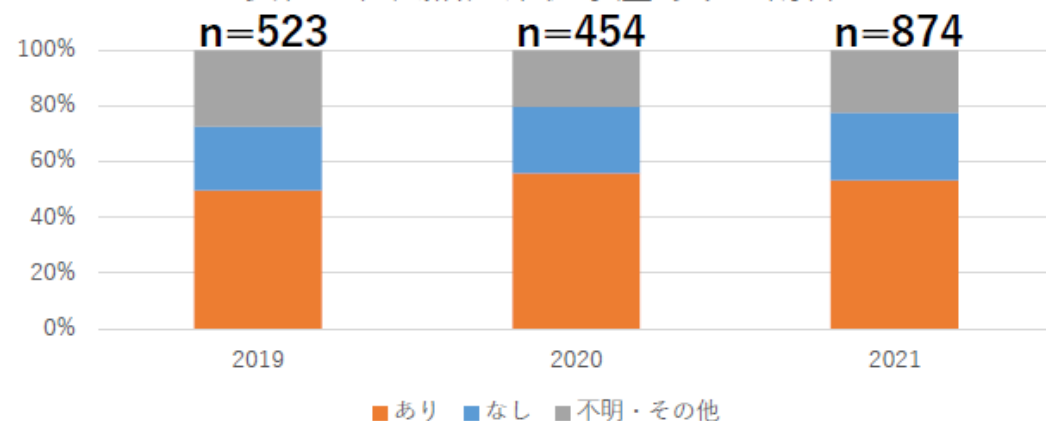
2021年に男性は20代～50代、女性は20代、30代で急増している

梅毒患者の性風俗産業従事歴と利用歴

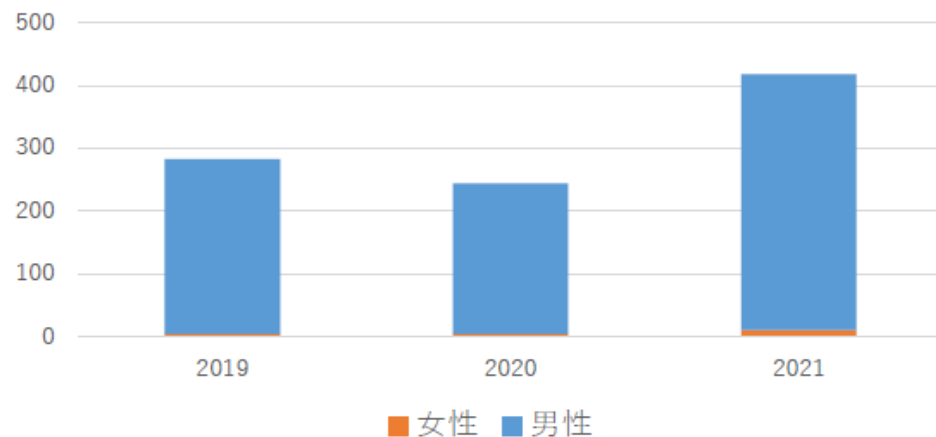
性風俗産業従事歴ありの推移



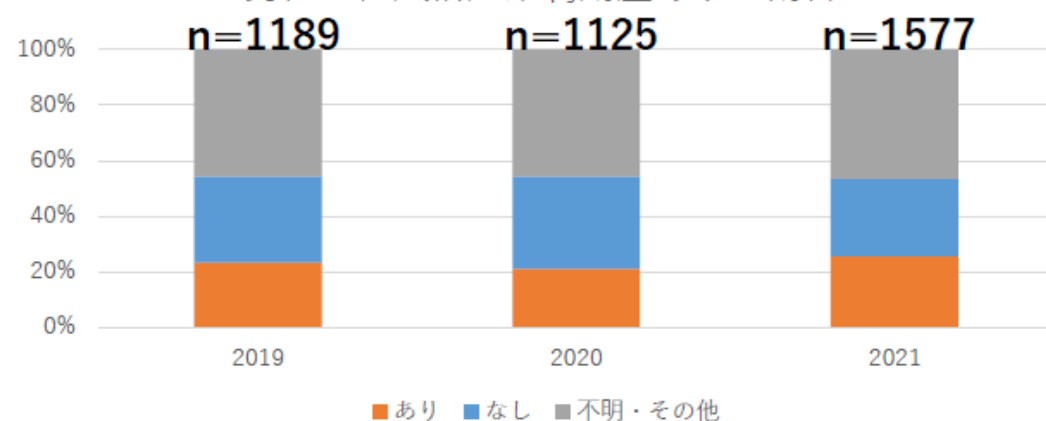
女性の性風俗産業従事歴ありの割合



性風俗産業利用歴ありの推移

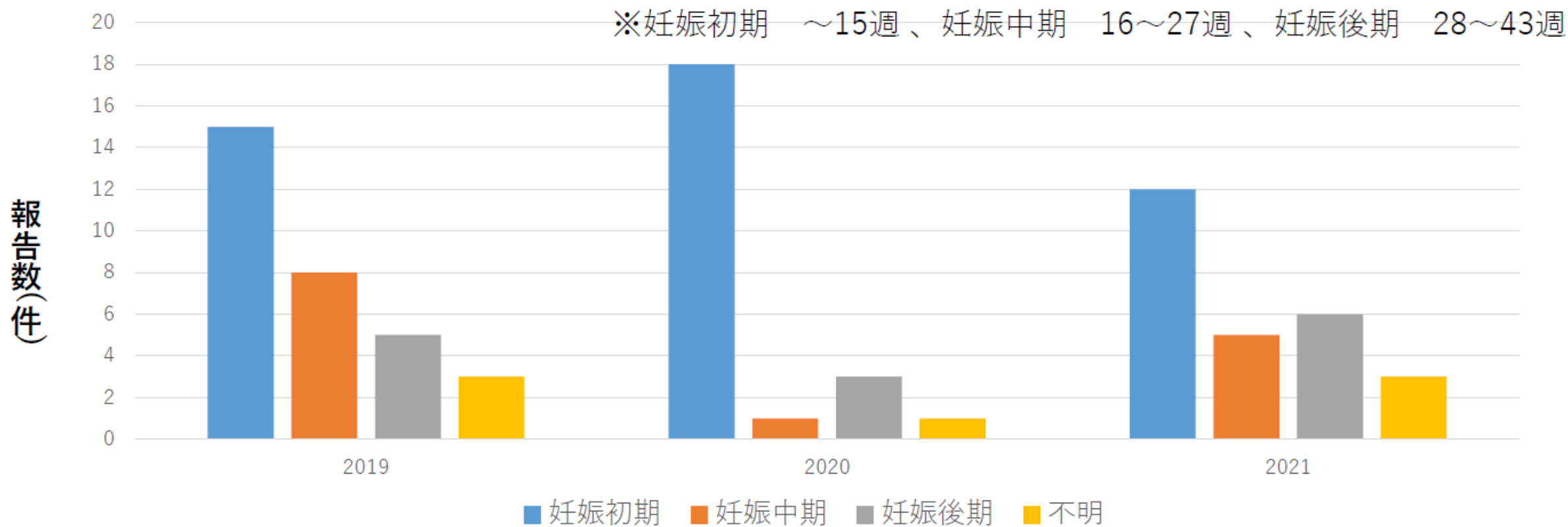


男性の性風俗産業利用歴ありの割合



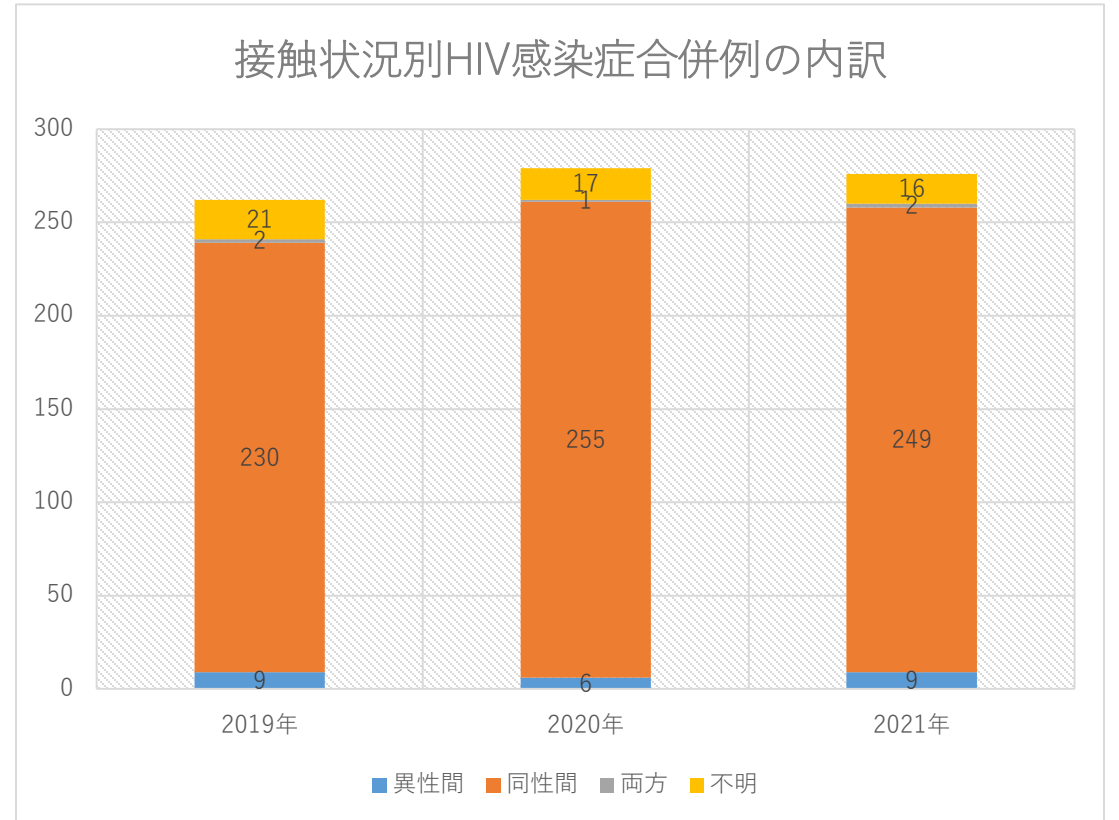
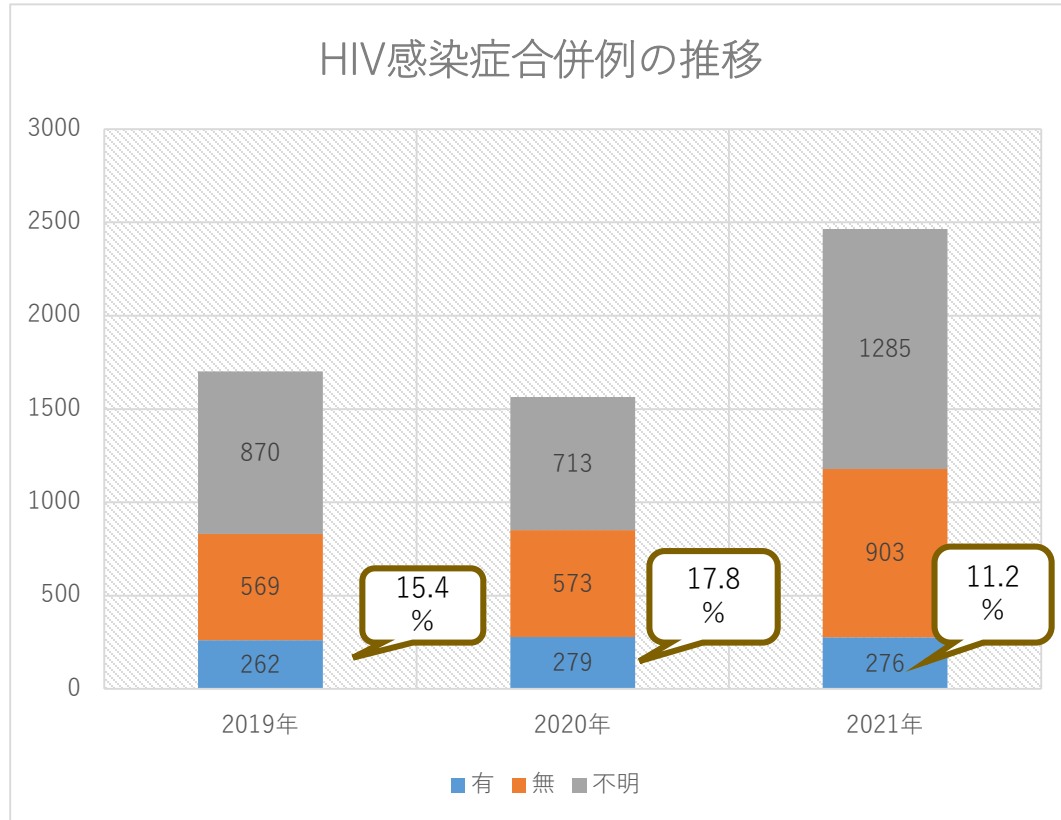
全体の報告数増加に伴い2021年の性風俗産業従事歴、利用歴の報告数は増加しているが、割合についてはほぼ変化なし

妊娠合併例：妊娠週数別



妊娠初期の報告数が多い。妊娠初期については妊婦検診時の検査で指摘が多いと思われる。妊婦検診を受診していれば、少なくとも中期までには梅毒検査を受けることが多い。そのため、妊娠後期の届出については妊婦検診を受診していない人の可能性がある。

HIV感染症合併例：推移、接触状況



HIV感染症合併症例は15.4%→17.8%→11.2%で推移。
接触状況別では同性間が圧倒的に多い。

梅毒患者の居住地

- 発生届の約半数に居住地の記載あり
- 届出数、居住者数ともに、新宿区が最多

新宿区	2019	2020	2021
届出数	739 (43.45%)	757 (48.37%)	1034 (41.96%)
居住者数	115 (6.76 %)	114 (7.28 %)	177 (7.18%)

東京都の梅毒重点対策（令和4年度）

- 梅毒の予防及びまん延防止、医療の一貫した対策を、令和5年度まで集中的に取り組む。

予防

普及啓発の強化

- 梅毒の予防・検査等についての啓発を強化

- ☑ 一般向け普及啓発動画
 - 平成30年度に作成した普及啓発動画を最新の内容に更新（★新規）
- ☑ ポスター・リーフレット
 - 大学、職域、各種団体等に配布（継続）
- ☑ ホームページの充実
 - 「東京都性感染症ナビ」を最新の動向を基に更新しながら、発生状況、予防方法や検査などの情報を一元的に発信し、広く普及啓発（継続）
- ☑ インターネット広告
 - （HPへの誘導や認知度向上のため、以下を展開）
 - 若者の利用者が多いInstagramへの広告（継続）
 - 幅広い利用者があるYouTubeへの動画広告（継続）

検査・受診

検査・相談体制の強化

- 早期発見に結び付けるため、梅毒検査・相談体制を強化



- ☑ 梅毒の検査体制を強化
 - 都検査・相談室の梅毒検査を強化（継続）
 - 都保健所においてHIV検査とセットで梅毒検査を実施（継続）

新宿東口検査・相談室	
HIV検査	毎日
梅毒検査	毎日
時間帯	平日：15:30~19:00 土日：13:00~16:30
備考	年2回の月間中は淋菌、クラミジア検査も実施

多摩地域検査・相談室	
HIV検査	土曜日
梅毒検査	土曜日
時間帯	10:00~15:00

都保健所（3所*）	
HIV検査	検査再開に向けて、検査日や時間帯について調整中
梅毒検査	
時間帯	

※多摩立川保健所、多摩府中保健所、多摩小平保健所

診察・治療

医療体制の確保

- 医療機関における梅毒の対応力向上



- ☑ 医療従事者向けオンライン研修
 - 医療機関向けに梅毒の発生動向や、治療法・各診療科の症例等を提供するオンライン研修のための動画を東京都性感染症ナビ(HP)の医療機関向け専用ページに掲載（継続）
- ☑ 「診療医療機関」に関する情報提供
 - 梅毒等、性感染症の診療を行う医療機関をホームページで情報提供（継続）

医療従事者向けオンライン研修 (東京都性感染症ナビ医療従事者向けページ)

The screenshot shows the website header with the Tokyo Metropolitan Government logo and navigation links. The main content area features the title '性感染症の正しい知識と適切な行動のために' (For the correct knowledge and appropriate actions regarding STDs) and illustrations of diverse people. Two callout boxes highlight 'Webで学ぶ梅毒研修動画・e-Learning' and '検査のご案内'. Below this is a section titled '医療従事者向けページ' (Page for Healthcare Workers) with a paragraph explaining that the page provides necessary knowledge for diagnosis and that a login ID and password are required. A button labeled '詳しくはこちら' (More details here) is at the bottom.



ユーザー名 (ID) : baidoku
パスワード : STI03
(エス・ティー・アイ・ゼロ・サン)

医療従事者向け梅毒研修動画

梅毒研修

研修動画では、梅毒の診断に必要な情報をご紹介します。当該研修動画を梅毒の早期発見・診断にご活用ください。

研修内容一覧

1. 東京都の梅毒の発生状況	講師：東京都福祉保健局健康安全研究センター企画調整部疫学情報担当課長 吉田 敦 氏
2. これも梅毒？梅毒の多様な症状	講師：すぎのこ皮膚科クリニック 院長(東京慈恵会医科大学皮膚科客員教授) 石地 尚興 氏
3. 梅毒の診断と治療	講師：すぎのこ皮膚科クリニック 院長(東京慈恵会医科大学皮膚科客員教授) 石地 尚興 氏
4. 性風俗関係者の現状と対応	講師：東京医療保健大学医療保健学部看護学科 教授 渡倉 睦子 氏
5. 性風俗関係者へのインタビュー	講師：東京医療保健大学医療保健学部看護学科 教授 渡倉 睦子 氏